

金沢美術工芸大学  
美術工芸研究所 2017年度後期企画

# ひきふだ☆ ザ・ワールド

Hikifuda the world  
近代版画印刷技術の粋

【引札（ひきふだ）とは】

引札（ひきふだ）とは、商家が商品の宣伝などを紙に印刷し配布した広告媒体。また、その宣伝文句のこと。  
単にチラシとして顧客に配布されたほか、年始等にお得意様へのご挨拶として配られた。

金沢美術工芸大学  
美術工芸研究所  
KANAZAWA COLLEGE OF ART  
Research Institute of Art and Design  
石川県金沢市小立野5丁目11番1号 076-262-3319

2017.10.10-2017.10.13  
開場時間：12:00-17:30  
金沢美術工芸大学大学院棟 2階展示室

入場無料

且元六木黒五津野三山大一

観

たかが引札。  
されど引札。





# ひきふだ☆ ザ・ワールド

近代版画制作技法の粹

引札(ひきふだ)とは、商家が店や商品の宣伝を目的に制作した、広告のこと。現代で言うチラシやフライヤーにあたります。江戸時代後期に姿を見せ始め、昭和のはじめまで制作されていました。

江戸時代。

日本の木版印刷は高い水準を誇っていました。学術的な書籍や一般大衆向けの草紙、たくさんの方世絵が木版によってつくられました。そして社会では、商人たちが活躍しはじめます。人々の生活が安定し、現在に近い消費社会が形成されました。引札はこうした技術と社会より生み出された、印刷文化のひとつなのです。

続く明治時代には、従来の木版に加え、銅版や石版などが台頭してきます。それは、商家も例外ではなく、手を替え、品を替え、次々と趣向を凝らした引札がつくられました。

引札は単なるむかしの広告です。「美術品」ではありません。しかし。

引札は人々が日常のうちに楽しむ「絵」であったことは間違いないでしょう。

今まで見過ごされてきた日常の中の絵画。引札に目を向けるきっかけとなれば幸いです。

今回の企画は北陸の引札を中心に作品をご紹介します。



表紙：「凱旋双六」制作年不明 渡辺商店（金沢市安江町）  
裏：「引札（菓子砂糖商）」制作年不明 中村彌助（小松市八幡町）/「引札（諸金物商）」制作年不明 湯浅惣之彌（金沢市下堤町）/「引札（たばこあら物商）」制作年不明 中幸商店（金沢市蛤坂町）/「引札（洋傘販売 萬仕立物商）」制作年不明 澤田保嘉二郎（金沢市堅町）

## 同時開催

秋季企画展「平成の百工比照と工芸作品の精華」2017.10.04-2017.11.11 於美術工芸研究所ギャラリー  
本学が平成21年度から収集・整備を継続している平成の百工比照資料と共に所蔵する工芸作品の優品をご紹介します。

本フライヤーには「飴鞭ゴシック-B」「花園明朝 A Regular」を使用しています。